

感染症は忘れたころにやってくる

# たいせつな家族を感染症から守る本

大阪大学名誉教授

生田和良・著

A4判・192頁・ISBN978-4-06-521179-3

定価：2,200円(税込) 講談社

一家に一冊の感染症バイブル。

微生物である細菌とウイルスの違いを知る、人のからだのしくみを知る、ライフステージによって出会う感染症の違いを知る。そうすることで自分や家族の感染症危機管理スキルを高めよう。

自分や家族の免疫の力を知り、どこでどのような感染症が待ち受けているかをあらかじめ想定できれば、感染症との共存生活はうまくいく。

著者は長年ウイルスの研究をし、ワクチンの開発に携わり、行政機関の最前線で感染症と対峙してきた。感染症は忘れたころにやってくる。見えないが身近にいる細菌とウイルス。でも、災害に備えるように感染症に備えれば、何とかできるのではないかと。今からでも遅くない。しかし、人は忘れるようにできている、だから厳かに感染症と対峙することができるように繰り返し学ぼう。

本書でそれぞれの世代で気になる感染症の知識を増やし、お互いにちょっとした知識を語れるようになろう。感染症を学び直すきっかけになり、そして、10年後、また引っ張り出して読む本です。

## 目次

はじめに

本書に登場する家族のメンバー紹介

第1章 予習●感染症に関する日本の特殊性

第2章 予習●微生物——見えないから微生物

第3章 予習●からだの強さと免疫のしくみを知る

第4章 保育園、幼稚園、小中高など集団生活で気になる感染症——予防接種やインフルエンザ

第5章 思春期・青年期で気になる感染症——性感染症と妊娠

第6章 成人期で気になる感染症——インフルエンザ、風しん、麻しん、輸入感染症

第7章 高齢期で気になる感染症——肺炎や薬剤耐性菌感染症など

第8章 感染症の検査とワクチン、抗体医薬

おわりに

索引



# 内容

## 第1章 予習〇感染症に関する日本の特殊性

●クリーンすぎる日本では、免疫を「学習」しにくい●ワクチン接種が重要だが、ワクチンが開発されていない感染症も多い●輸入感染症が、大きな社会問題となっている

## 第2章 予習〇微生物——見えないから微生物

●微生物には人に役立つ「有用微生物」と、感染症を起こす「病原微生物」がある●ウイルスレセプターには、糖鎖やたんぱく質などいろいろある●ウイルスには、DNAウイルスとRNAウイルスがある●病原体は、飛沫感染・空気感染・エアロゾル・接触感染でうつる●マスクと手洗いは感染防御に効果的、消毒はウイルスの構造にあわせて行う●マスク・手洗い・アルコール消毒・次亜塩素酸ナトリウム消毒の正しい方法

## 第3章 予習〇からだの強さと免疫のしくみを知る

●ヒトのからだを防御するしくみ●ヒトの免疫には、「自然免疫」と「獲得免疫」がある●獲得免疫には、「液性免疫」と「細胞性免疫」がある●Bリンパ球の抗体は、他の人に有効で血清療法となる●液性免疫は、Bリンパ球が作る抗体の働き●細胞性免疫は、Tリンパ球が受ける抗原提示によって異物（病原体）を認識●ライフステージと免疫の力——免疫生活

## 第4章 保育園、幼稚園、小中高など集団生活で気になる感染症——予防接種やインフルエンザ

赤ちゃん時代の生活と感染症●胎児期にもらった抗体と、母乳からの抗体で、なんとか凌ぐ●赤ちゃんに、免疫の力を安全に獲得させてやりたい親心●赤ちゃんの予防接種は、スケジュール合わせが大変●予防接種できるワクチンには、順番がある●幼弱な乳幼児をおそう、RSウイルス感染症 保育園・幼稚園、小学生時代の集団生活と感染症●幼稚園に元気に通っているのは嬉しいが、流行する感染症が心配だ●感染症にかかると、園や学校を休まないといけなくなる●おなかこわしてるな、の多くが感染性胃腸炎——細菌性胃腸炎、ウイルス性胃腸炎●手足口病やヘルパンギーナは、数年ごとに流行する●伝染性紅斑（りんご病）は、ほっぺたが赤くなるころにはうつしてしまっている●咽頭結膜熱（プール熱）の原因となっている、アデノウイルスも手ごわい●溶血性レンサ球菌感染症は、ペニシリン系の抗生剤が有効●麻しん・風しんは、2回の予防接種で感染回避●水痘（水ぼうそう）は、2回の予防接種で感染回避●流行性耳下腺炎（おたふく風邪）も、予防接種で感染回避●インフルエンザは小児、青年に限らないが…●インフルエンザウイルスと、ワクチンを詳しく見ていこう

## 第5章 思春期・青年期で気になる感染症——性感染症と妊娠

●エイズの原因が、ウイルスだったという衝撃●梅毒は、昔のものではなくなりつつある●クラミジア感染症は、日本で最も多い性感染症●菌自体は弱い、淋病は増加傾向にある●からだに潜んで繰り返す、性器ヘルペスウイルス感染症●尖圭コンジローマの原因は、ヒトパピローマウイルスである●母体から抗体も移行するが、病原体もうつる——胎児への母子感染●母乳から抗体も移行するが病原体もうつる●妊娠前に求められるワクチン接種は、麻しんと風しん●妊娠を計画している場合には、感染症に対する抗体検査がお勧め●ワクチンを接種しても、十分な抗体が獲得できない人は一定数存在する

## 第6章 成人期で気になる感染症——インフルエンザ、風しん、麻しん、輸入感染症

●インフルエンザ、風しん、麻しん、再び●インフルエンザワクチンの製造は、どうなっているのか●職場で感染した風しんウイルスは、妊婦への伝播に注意●麻しんの流行は、海外からの持ち込みが原因に●途上国への出張命令が下ったら、感染症を気にしてほしい●海外で流行している感染症が国内に持ち込まれる「輸入感染症」が増えている●アジア地域からの輸入感染症●2009年のパンデミック型インフルエンザ、水際作戦●解熱剤を飲んで、検疫所を通過するケースもあり●潜伏期とウイルスの感染力（伝播力）に注意●多くの人が集まる「マスコギャザリング」を想定しなければならない

## 第7章 高齢期で気になる感染症——肺炎や薬剤耐性菌感染症など

●最近、肺炎で亡くなる人が多い気がする●誤えん性肺炎の原因として、細菌が食べ物といっしょに入ることが多い●ウイルス性肺炎も引き起こす、インフルエンザウイルス●レジオネラ症は、湿気やぬめりに注意しないといけない●日本では、今でも結核が多いのに、あまり対策が進んでいない●薬剤耐性菌による感染症は、地球規模の課題となっている●感染性胃腸炎、再び——細菌性胃腸炎、ウイルス性胃腸炎

## 第8章 感染症の検査とワクチン、抗体医薬

●感染症の検査には、PCR検査、抗原検査、抗体検査がある●細菌やウイルスの血清型と、遺伝子型を判別し、「ワクチン」で対抗する●単クローン抗体で「抗体医薬」を目指すことで患者の救世主に

**講談社**

東京都文京区音羽 2-12-21 全国書店で発売中。ご購入の際は下記申込書をご記入のうえ、お近くの書店へお申し込み下さい。

編集 ☎03 (3235) 3701

講談社サイエンティフィック <https://www.kspub.co.jp/> 表示価格は定価（税込）です。

販売 ☎03 (5395) 4415

.....キリトリ.....

申 込 書	
<b>たいせつな家族を感染症から守る本</b>	
定価 2,200 円(税込) ISBN978-4-06-521179-3	
冊	
氏名または団体名 (団体責任者)	取扱書店名
住所 〒 (      )	電話番号
発行 = 講談社	

●お名前、ご住所など個人情報は本書をお届けすることのみに使用します。転用はいたしません。

このチラシの告知内容は 2021 年 4 月現在のものです。